

前橋文学館で「詩のAR展示」を行っています

前橋文学館は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館していましたが、6月1日(月)から、事前予約・完全入れ替え制で開館を再開しています。

そこで、再開はしているものの受け入れ人数に限りがあることから、入館してもしなくても楽しめる「詩のAR展示」を始めました。文学館の見学時に、また、広瀬川河畔の散歩の合間に、萩原朔太郎の詩をはじめとする様々な言葉をお楽しみいただけます。

- 日時** 令和2年6月1日(月)9時～
(館外ARは日没まで。館内は17時まで。水曜休館)
- 場所** ①前橋文学館内(千代田町三丁目12-10)
②前橋文学館前朔太郎像
③萩原朔太郎記念館横ポスト
- 内容** 専用のスマホアプリダウンロードによるAR展示。詳細は別紙参照
①は壁面に印字された6編の詩を、県内外で活躍する女優の手島実優^{てしまみゆう}さんと、ご当地アイドルあかぎ団の礒千彩香^{いそひあやか}さんの朗読、萩原朔太郎撮影の写真で紹介。②は萩原朔太郎の詩「沼沢地方」(本人の朗読音源)を、③は萩原朔太郎の詩「郵便局の窓口で」をモチーフに、県内在住のシンガーソングライターのcarry音さんが作曲した楽曲音源を紹介。
- 料金** ①はAR展示及び3階オープンギャラリー観覧の場合は無料。
常設展示及び企画展示を含めて観覧する場合は400円(高校生以下・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名無料)。
- その他** 県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン」による警戒度の変動により、開館状況が変更となる場合があります。
最新の開館情報は前橋文学館ホームページをご確認ください。

本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 文学館

電話 直通 / 027-235-8011